|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **実習施設名** |  | **施設種別****60時間実習プログラミングシート** |  | **作成日****日本福祉大学 社会福祉学部** |  |
| **実習プログラム作成メンバー** |  |
|  |
| **学生に求める事前学習** |
|  |
|  |
| **学びの流れ****（視点）** | **教育に含むべき事項（国通知）** | **本学部の達成目標****（評価項目）** | **実習内容　/　実習方法　/　担当者** | **指導上の留意点、教材** |
| **生活課題を抱える人の暮らしを知る** | 1. 利用者やその関

係者（家族・親族・友人等）、　施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的コミュニケーションや円滑な人関係の形成 | Ⅰ-②利用者やその関係者（家族・親族・友人等）、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等とコミュニケーションをとり円滑な人間関係を形成することができる。 |  |  |
| 1. 利用者や地域の

状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）の把握、支援計画の作成と実施及び評価 | Ⅱ-②生活課題を抱える人々の視点に立って地域の特性を説明できる |  |  |
| **生活課題を抱える人々の暮らしを支える「地域のつながり」を知る（地域住民/専門職/事業所/機関）** | ⑤多職種連携及びチームアプローチの実践的理解 | Ⅱ-①生活課題を抱える人々が地域で暮らすことを支援するための職種間連携及びチームアプローチについて説明できる。 |  |  |
| ⑥実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ | Ⅱ-③生活課題を抱える人々が地域で暮らすことを支援するための実習施設の役割を説明できる |  |  |
| **生活課題を抱える人々の視点に立って地域を知る** | ⑦地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と、利用者やその関係者、地域のニーズに対する社会資源の活用・調整方法・開発の必要性に関する理解 | Ⅱ-④生活課題を抱える人々が地域で暮らすことを支える資源の配置状況や不足している現状について説明できる。 |  |  |
| ⑨社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解 | 1-④スーパービジョンを通して、自分自身を振り返り、姿勢・態度を修正することができる。Ⅲ-①社会福祉士倫理綱領をふまえ、社会福祉士の役割を説明できる。 |  |  |
| ⑩以下の技術につい目的、方法、留意点について説明することができる・ネットワーキング・コーディネーション・プレゼンテーション | Ⅲ-②実習中に経験したネットワーキング、コーディネーションの取り組み例を説明できる。Ⅲ-③実習を通して「包括的支援に必要な視点」について学んだことをプレゼンテーションできる。 |  |  |